

情報通信人材研修

(1)	コース番号	M001	
(2)	コース名称	プロジェクトマネジメント（QCD）入門	
(3)	受講料	会員：55,000円、一般：85,000円	
(4)	達成目標 または育成目的	<ul style="list-style-type: none"> ● システム開発の遅滞要因や予算オーバー要因の理解およびリスク対応計画などを理解し、実務上のプロジェクトを成功裏に収める知識とスキルを修得し、これらを活用できるようになるために、システム開発の活動において、品質・コスト・納期のトレードオフの関係を管理する知識を体系的に学ぶ。 ● プロジェクトマネジメントのケーススタディを通じて、スケジュール作成と遅延要因、予算化と予算オーバー要因、リスク分析とリスク対応計画などを理解する。 	
(5)	前提知識 または受講対象者	システム開発プロジェクトのリーダー およびメンバーとして携わる方	
(6)	日程	平成30年11月7日(水)～11月9日(金)	3日間
(7)	時間	10:00～17:40	20時間
(8)	会場	船橋情報ビジネス専門学校3号館	
(9)	定員	20名（最小催行人員8名）	
(10)	講師	町田 陽子	
		株式会社ムーヴフォワード 代表取締役	
		独立系ITコンサルティング会社にてITサービスプロバイダーとしてプロジェクトを経験後、事業会社のIT子会社にて、ユーザー企業に近い立場にて、プロジェクト企画～開発～保守までの工程をプロジェクトマネージャー補佐として経験。現在、プロジェクトマネジメントに特化したコンサルティング会社にて、様々な業種・業界・プロジェクトを対象にプロジェクトマネージャー、PMO業務に従事。	
(11)	内容	第1日目	1. よく起こる問題現象 2. プロジェクトの問題（品質低下、納期遅延、コスト超過） 3. プロジェクトマネジメントの必要性 4. プロジェクトマネジメントプロセス
		第2日目	6. スコープ計画とスコープ定義：WBS 7. スケジュール作成：過負荷やクリティカルパスの調整など 8. コスト見積りと予算計画の作成 9. 品質計画とソフトウェア品質特性 10. リスク管理計画 11. プロジェクト計画作成演習
		第3日目	12. 実行管理・プロジェクト遂行過程のマネジメント 13. 進捗管理：スケジュール調整、 14. 変更管理 15. プロジェクトの変更管理演習：利害関係者との折衝など 16. ステークホルダーマネジメント
(12)	その他（使用機材等）	PC（グループで一台）、プロジェクター、ホワイトボード、付箋	